

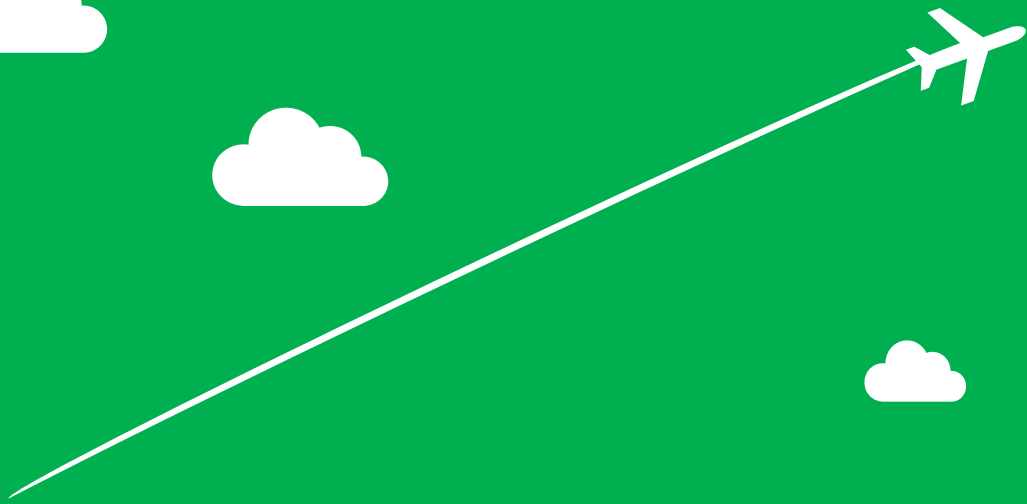


第73期

大塔興業株式会社 環境経営レポート

Daito Kogyo Environmental Report

令和元年10月1日～令和2年9月30日



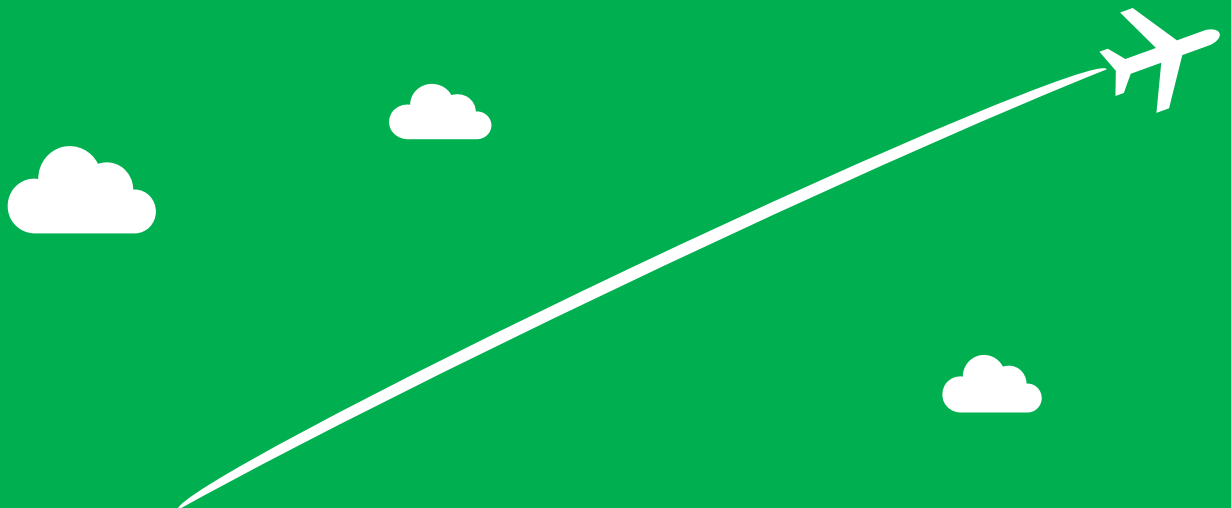
令和2年11月7日 発行





目次

1. 大塔興業株式会社環境経営方針	3
2. 事業の概要	4
3. 環境経営システム組織図	6
4. 中長期環境経営目標（全社集計値）	9
5. 環境経営活動計画	10
6. 環境経営目標及び実績と評価（全社）	11
7. 環境経営目標及び実績と評価（本社）	12
8. 環境経営目標及び実績と評価（川上碎石場）	13
9. 環境経営目標及び実績と評価（嘉川碎石場）	14
10. 環境経営目標及び実績と評価（リサイクル工場）	15
11. 環境経営目標及び実績と評価（リハ°センター）	16
12. 環境経営活動計画と評価、次年度の取り組み	17
13. 教育研修活動	18
14. 参考資料	19
15. 環境関連法規等の遵守状況	20
16. 代表者総括	21





1. 大塔興業株式会社環境経営方針

基本理念

当社は循環型社会の構築を前提とし、有限の骨材資源を無駄にすることなく有効活用し、自然と調和した快適な地域社会を目指します。

また、化石燃料消費を主要因とした地球温暖化対策のため、温室効果ガスの排出抑制等、骨材生産の事業活動を通じて、環境への負荷低減に取り組みます。

行動指針

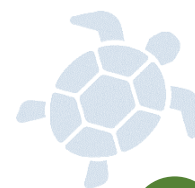
当社では基本理念に沿った環境経営システムを構築し、従業員全員の理解のもと、継続的に改善活動に取り組んで参ります。

- 1) 従業員全員が地球環境の現況について学び、危機感を共有します。
- 2) 温室効果ガスの排出削減について各自が出来ることを確認し実践します。
- 3) CO2排出量低減を念頭に、プラント・重機等の設備改善を推進します。
- 4) 重機および輸送車両のアイドリングストップで燃料量を削減します。
- 5) 3R (Reduce/Reuse/Recycle)活動の社内展開に努めます。
- 6) 地域への環境影響を常に考慮し、環境関連法規・条例を遵守します。
- 7) この環境方針を従業員全員に周知するとともに、広く一般に公開します。

令和1年 11月7日

大塔興業株式会社 代表取締役社長

塔野 功一郎





2. 事業の概要

1) 名称および代表者名

大塔興業株式会社

代表取締役社長 塔野 功一郎

2) 所在地

本社 山口県宇部市大字善和字下柿ノ木原789番地の6

川上砕石場 山口県宇部市大字川上字白石137-1

嘉川砕石場 山口県山口市嘉川字保手尾3954番地

リサイクル工場 山口県宇部市大字川上字太郎田142-1

リペアセンター 山口県宇部市大字川上字太郎田142-1

3) 環境管理責任者 堀田 修司

TEL : 0836-62-1820

E-mail : info@daito-kogyo.com

環境管理担当者 横山 猛、三浦 翠 同上

4) 事業内容

生産販売業 : 砕石、砂、再生砕石他

産業廃棄物処分業 : 中間処理 (破碎) - コンクリートくず、がれき類他

産業廃棄物収集運搬業 : コンクリートくず、がれき類、廃プラ、金属くず他

5) 事業規模

創立 昭和25年3月

資本金 1,000万円

	H27年10月1日～ H28年9月30日	H28年10月1日～ H29年9月30日	H29年10月1日～ H30年9月30日	H30年10月1日～ R1年9月30日	R1年10月1日～ R2年9月30日
売上高	480百万円	354百万円	346百万円	432百万円	399百万円
収集運搬量 (産廃)	7,487ton	5,859ton	2,249ton	2,981ton	5,026ton
砕石出荷量	75,122ton	58,929ton	67,911ton	72,690ton	66,167ton
廃棄物受入量	62,410ton	47,826ton	52,553ton	73,351ton	67,804ton
再生材出荷量	58,895ton	38,857ton	37,992ton	52,152ton	51,026ton
従業員数	26人	26人	27人	27人	27人
破碎機数	7基	7基	7基	7基	7基
収集運搬車両数	8台	8台	8台	7台	7台
重機等	15台	15台	15台	15台	15台
事務所総床面積	450㎡	450㎡	450㎡	450㎡	450㎡

6) 事業年度 10月1日～翌年9月30日

7) 許可内容

産業廃棄物収集運搬業許可（保管面積676㎡、保管上限625㎡、高さ3m）

産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）																			
都道府県及び 政令都市	積替保管		許可の年月日 及び有効期限	許可番号	燃え殻	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	鉱さい	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残渣	ばいじん	13号廃棄物	種類） （陶磁器くず（自動車 等破砕物を除く。以上3	ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。以上17種類	
	有	無																					
山口県	●		平成30年11月16日 令和7年11月15日	第03516060875号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

（これらは、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み、

特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上17種類

産業廃棄物処分業許可（処理能力880t/日・8時間） 設置場所：山口県宇部市大字川上字東大日127番地1

産業廃棄物処分業				許可項目（事業の範囲）		
都道府県及び 政令都市	保管場所		許可の年月日 及び有効期限	許可番号	がれき類	リガラ （トラス クレーン 等陶磁器 破砕物）
	有	無				
山口県	●		平成30年11月16日 令和7年11月15日	第03526060875号	●	●

（これらは、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上2種類

8) 産業廃棄物収集運搬車両一覧

車両形式	車両番号	積載量
小型ダンプ	山口100 あ1869	2.00t
普通ダンプ	山口100 あ4832	3.70t
普通ダンプ	山口100 あ5767	3.55t
大型ダンプ	山口130 あ2887	9.30t
大型ダンプ	山口130 あ2888	9.20t
大型ダンプ	山口130 あ2889	9.00t
大型ダンプ	山口130 あ2890	9.00t
大型ダンプ	山口130 あ2891	9.00t
平ボディトラック	山口100 さ1878	2.00t





川上碎石場



●生産能力 月産25,000t

●主要機械明細

名称	仕様	数量
ジョークラッシャー	40'×32'	1台
コーンクラッシャー	オムニ937	1台
振動フルイ		2台
ベルトコンベア		8基
タイヤショベル	3.4㎡	1台
パワーショベル	0.8㎡~1.9㎡	3台
原石運搬ダンプトラック	25 t	2台

嘉川碎石場

●生産能力 月産20,000t

●主要機械明細



名称	仕様	数量
ジョークラッシャー	36'×24'	1台
コーンクラッシャー	オムニ1144	1台
バーマック	BM150	1台
振動フルイ		5台
ベルトコンベア		15基
タイヤショベル	3.4㎡ 3.6㎡	2台
パワーショベル	0.8㎡	1台
散水車		1台





リサイクル工場

- 生産能力 月産22,000t
- 固定式破碎機（中間処理施設）
- 主要機械明細

名称	仕様	数量
ジョークラッシャー	36'×24'	1台
インペラブレーカー	KP55N	1台
ベルトコンベア		13基
磁選機		3台
振動フルイ		2台
風力選別機		1台
タイヤショベル	3.4m ³ 3.6m ³	2台
パワーショベル	0.8m ³ 0.9m ³	2台
ブルドーザ	D39	1台
小割機	0.9m ³	2台
移動式選別機		2台
散水車		1台



ジョークラッシャー



インペラブレーカ

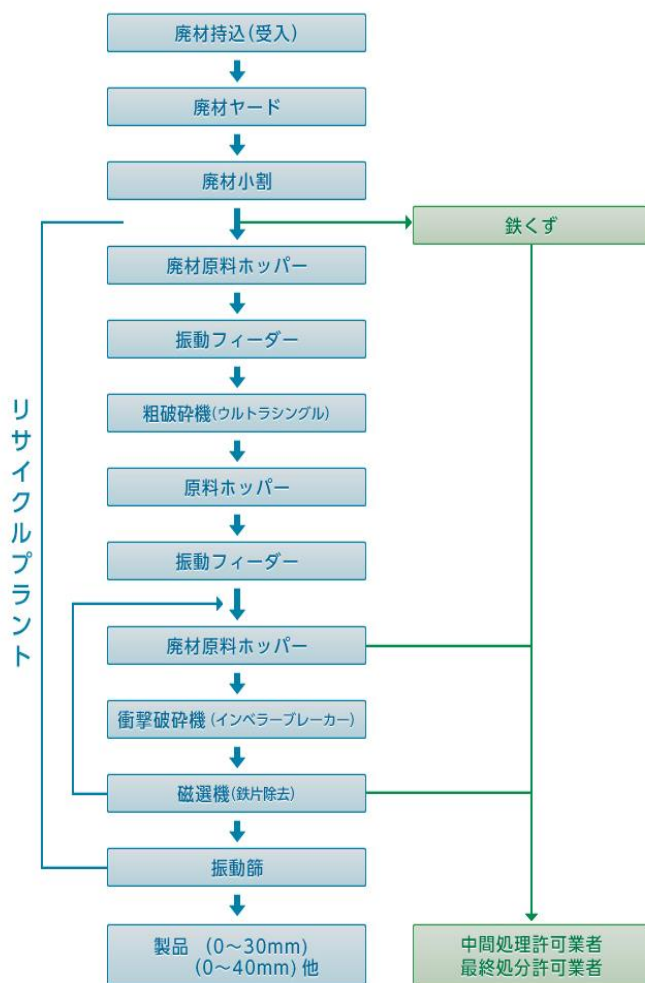


振動篩～ベルトコンベヤ



製品ヤード

●産廃処理フロー



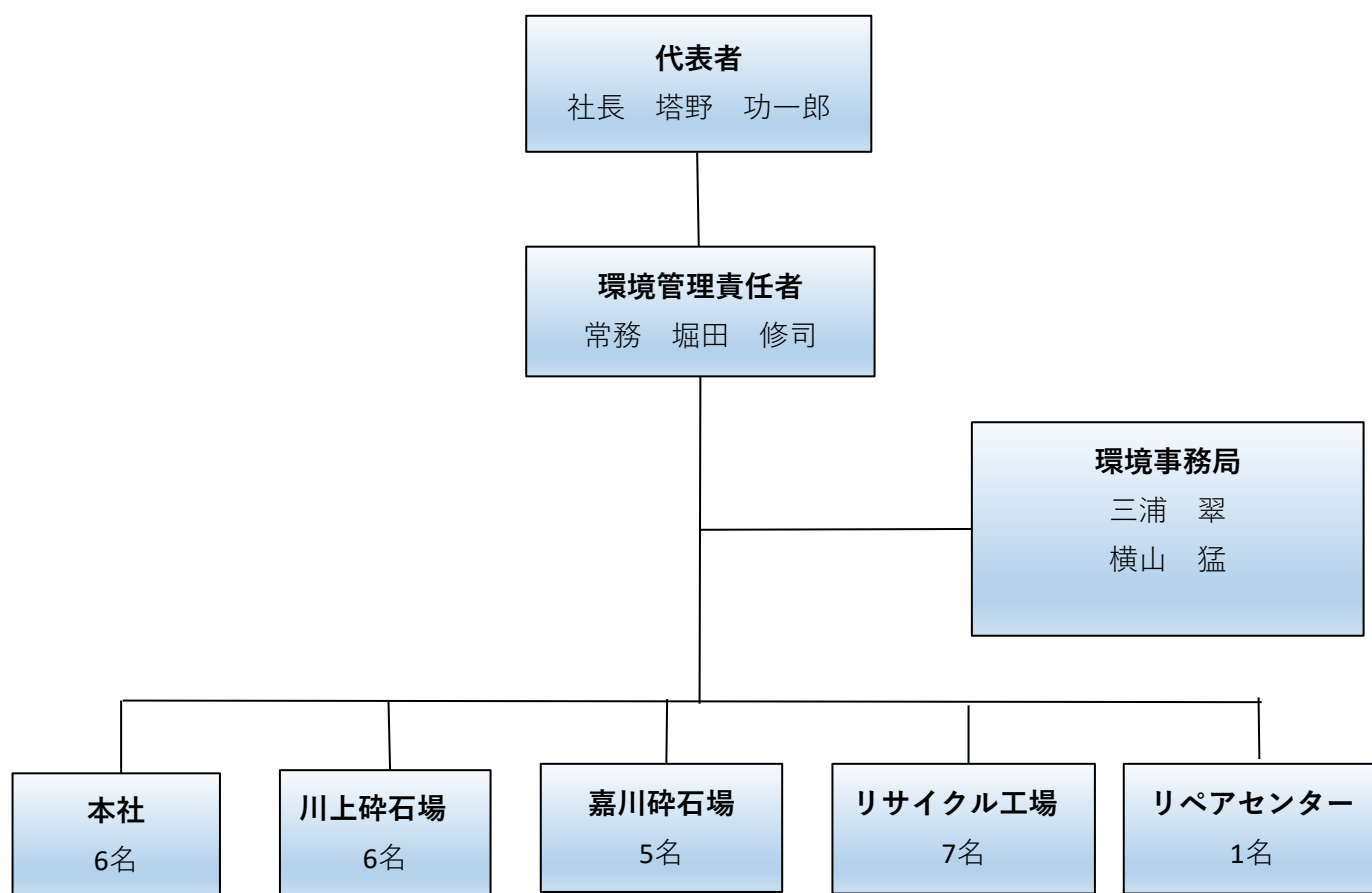


3. 環境経営システム組織図

認証・登録の対象範囲

- (1)対象事業所 当社全施設
- (2)対象事業活動 当社全活動（生産販売業、産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業）

組織図





4.

中長期環境経営目標（全社集計値）

環境経営目標		単位	基準年度69期 H27/10～ H28/9	73期 R1/10～R2/9 目標	74期 R2/10～R3/9 目標	75期 R3/10～R4/9 目標	76期 R4/10～R5/9 目標
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	1,224,979	1,182,105以下 (▼3.5%)	1,179,042以下 (▼3.75%)	1,179,042以下 (▼3.75%)	1,175,980以下 (▼4%)
1	電力使用量の削減	kWh	592,162	571,436以下 (▼3.5%)	569,955以下 (▼3.75%)	569,955以下 (▼3.75%)	568,476以下 (▼4%)
2-1	軽油使用量の削減	ℓ	294,270	283,971以下 (▼3.5%)	283,823以下 (▼3.75%)	283,823以下 (▼3.75%)	288,385以下 (▼3.75%)
2-2	ガソリン使用量の削減	ℓ	14,282	13,782以下 (▼3.5%)	13,746以下 (▼3.75%)	13,746以下 (▼3.75%)	13,996以下 (▼3.75%)
2-3	灯油使用量の削減	ℓ	650	637以下 (▼2%)	635以下 (▼2.25%)	635以下 (▼2.25%)	635以下 (▼2.25%)
2-4	液化石油ガス (LPG) の削減	kg	1,732	1,697以下 (▼2%)	1,693以下 (▼2.25%)	1,693以下 (▼2.25%)	1,693以下 (▼2.25%)
3	水使用量の削減	m ³	417.2	396.3以下 (▼5%)	395以下 (▼5.25%)	395以下 (▼5.25%)	395以下 (▼5.25%)
4	一般廃棄物の削減	ton	0.62	0.58以下 (▼6%)	0.58以下 (▼6.25%)	0.58以下 (▼6.25%)	0.58以下 (▼6.25%)
5	家庭内エコ目標	達成 件数	—	1件/戸・年以上	1件/戸・年以上	1件/戸・年以上	1件/戸・年以上
6	地域清掃活動への 取り組み	達成 件数	—	1件/年以上	1件/年以上	1件/年以上	1件/年以上
7	優良認定を維持	—	必要情報を 更新した	情報更新の徹底			
8	リサイクル製品の品質維持	—	品質はすべて 適合	品質管理の徹底			

・CO2排出係数は、中国電力：0.697kg-CO2/kWh(平成27年度・実排出係数)を使用。

・化学物質の使用量はないため、目標に掲げず、適正に管理する。





環境経営活動計画

(1)電気使用量の削減

- ・ 破碎設備の無負荷時間を極力短縮する。
- ・ コンベヤの摺動抵抗低減のため、摺動部のグリース給脂を定期的実施する。
- ・ 無人箇所では蛍光灯を消す。

(2)化石燃料使用量の削減

- ・ アイドリングストップを徹底する。
- ・ エコドライブを遵守する。
- ・ 特自検の確実な実施により、フィルター等の定期的交換。
- ・ 重機、社有車の交換時は燃費向上を考慮し導入する。 **(グリーン購入法遵守)**

(3)水使用量の削減

- ・ 水道水の蛇口上に節水ポスターを掲示し、意識向上を図る。

(4)一般廃棄物の削減

- ・ コピー用紙の低減のため、両面コピーを遵守する。
- ・ ダンボール、新聞紙、雑誌等は回収業者に提供する。
- ・ 文房具、洗剤等は詰替え商品を優先し購入する。 **(グリーン購入法遵守)**

(5)地域貢献活動と家庭内エコ目標

- ・ 会社周辺道路の清掃活動実施。(1回以上/月)
- ・ 定期的な水路清掃の実施。(1回以上/年)
- ・ 自治会清掃への参加。(1回以上/年)
- ・ 従業員ののエコ意識高揚のため、各人の家庭内エコ目標を掲げる。
(1件以上/年)

(6)経営における課題とチャンス

- ・ さんばいくんの情報を確実に更新する。
- ・ 毎年製品分析を行い、リサイクル認定基準適合を確認する。

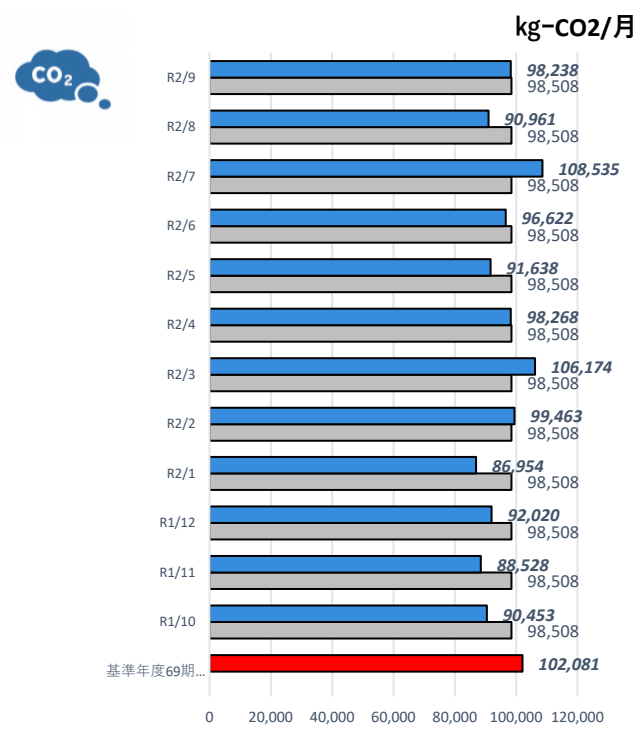
〇74期からの新しい取り組み予定

- ・ SDGs に取り組む準備
- ・ 本社の屋根に太陽光パネルの設置、電気の使用量の見える化
- ・ 大型ダンプ 新台への切り替え促進

6. 環境経営目標及び実績と評価 (全社合計)

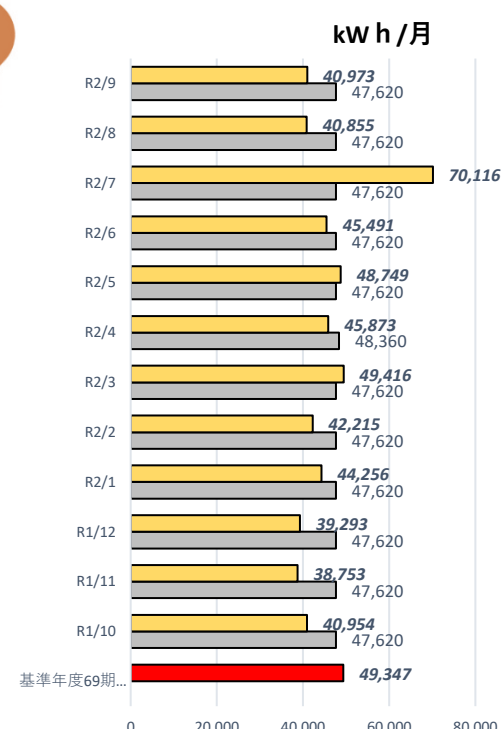
二酸化炭素排出量の削減 (全社合計/月)

1,147,853	判定	実績 ▼2.9%
1,182,096	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
1,224,972		基準年度H27/10~H28/9



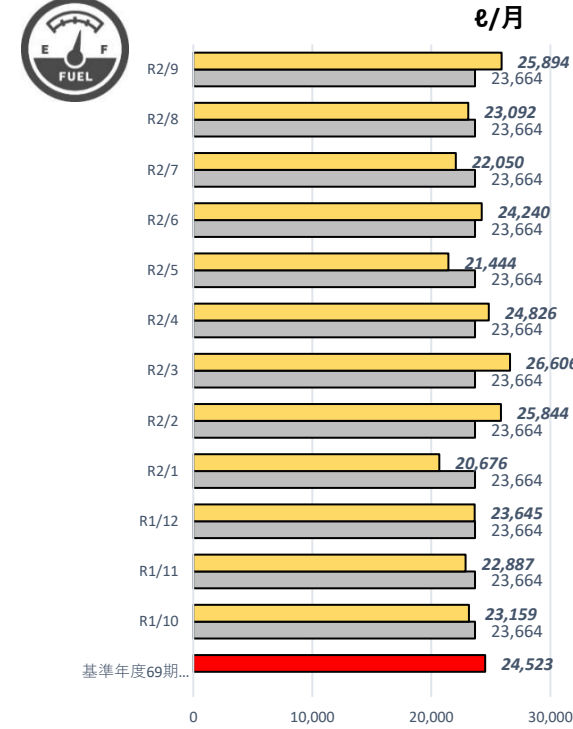
電力使用量の削減 (全社合計/月)

546,944	判定	実績 ▼4.1%
571,440	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
592,164		基準年度H27/10~H28/9



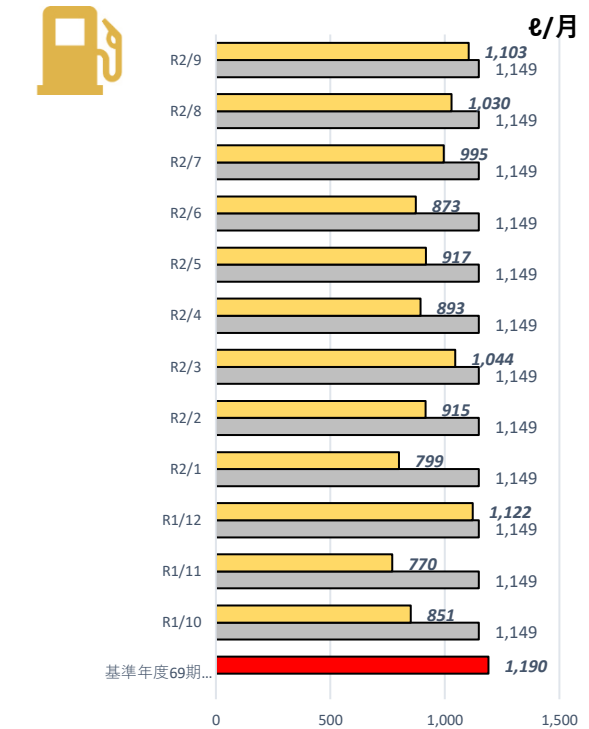
軽油使用量の削減 (全社合計/月)

284,363	判定	実績 0.1%増
283,968	△	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
294,276		基準年度H27/10~H28/9



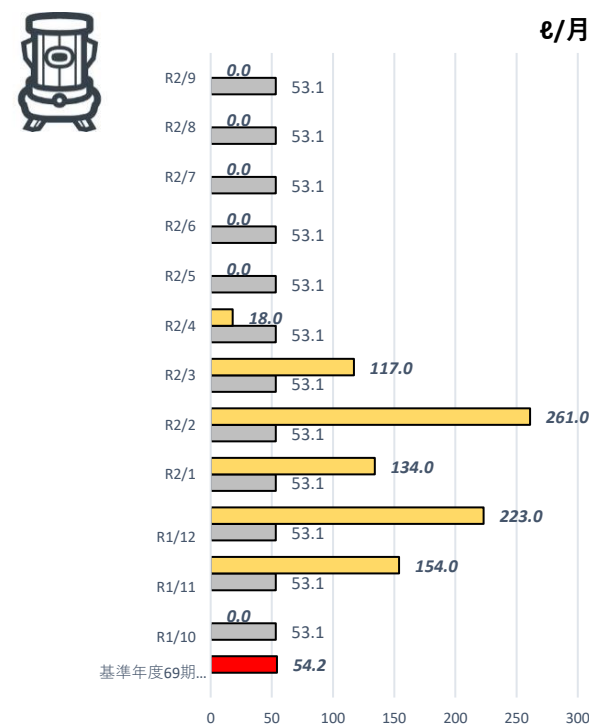
ガソリン使用量の削減 (全社合計/月)

11,312	判定	実績 ▼17.3%
13,788	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
14,280		基準年度H27/10~H28/9



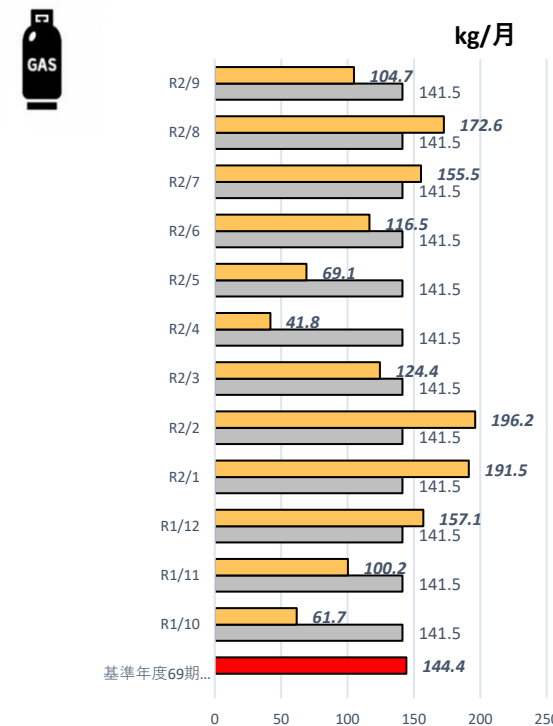
灯油使用量の削減 (全社合計/月)

907	判定	実績 42%増
637	×	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
650		基準年度H27/10~H28/9



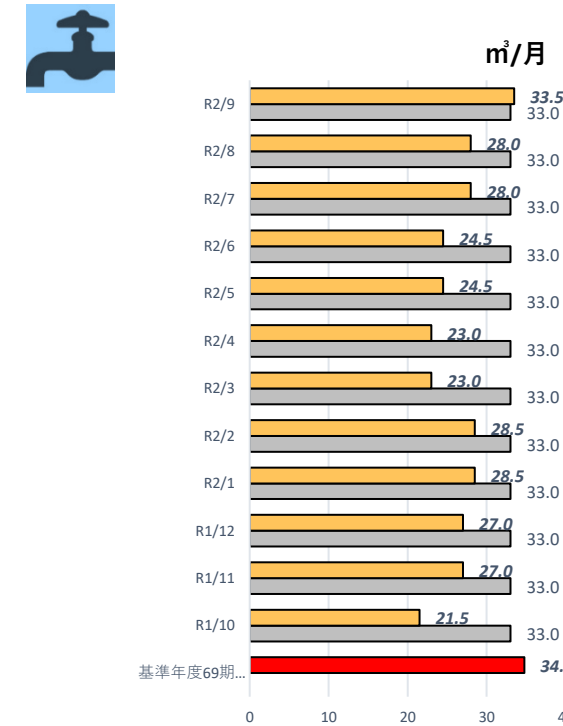
液化石油ガス (LPG)使用量の削減 (全社合計/月)

1,491	判定	実績 ▼12%
1,698	△	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
1,733		基準年度H27/10~H28/9



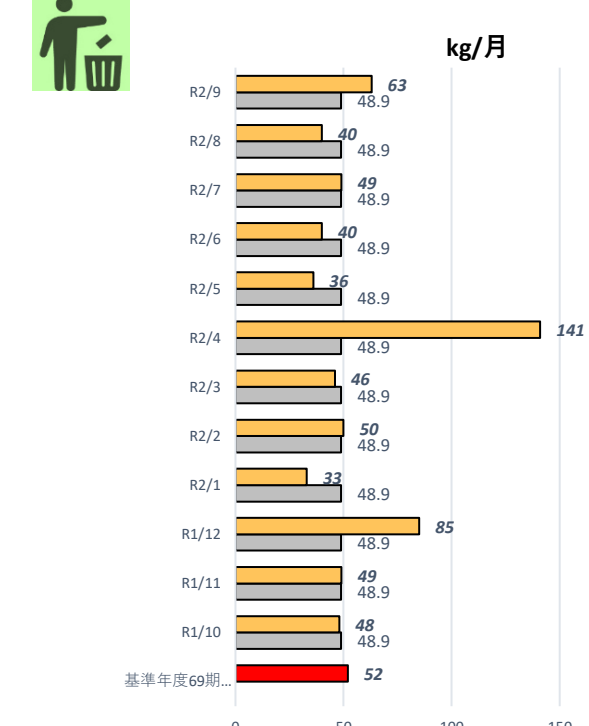
水使用量の削減 (全社合計/月)

317	判定	実績 ▼19.2%
396	○	目標 R1/10~R2/9 ▼5%
418		基準年度H27/10~H28/9



一般廃棄物の削減 (全社合計/月)

680	判定	実績 15%増
587	△	目標 R1/10~R2/9 ▼6%
624		基準年度H27/10~H28/9

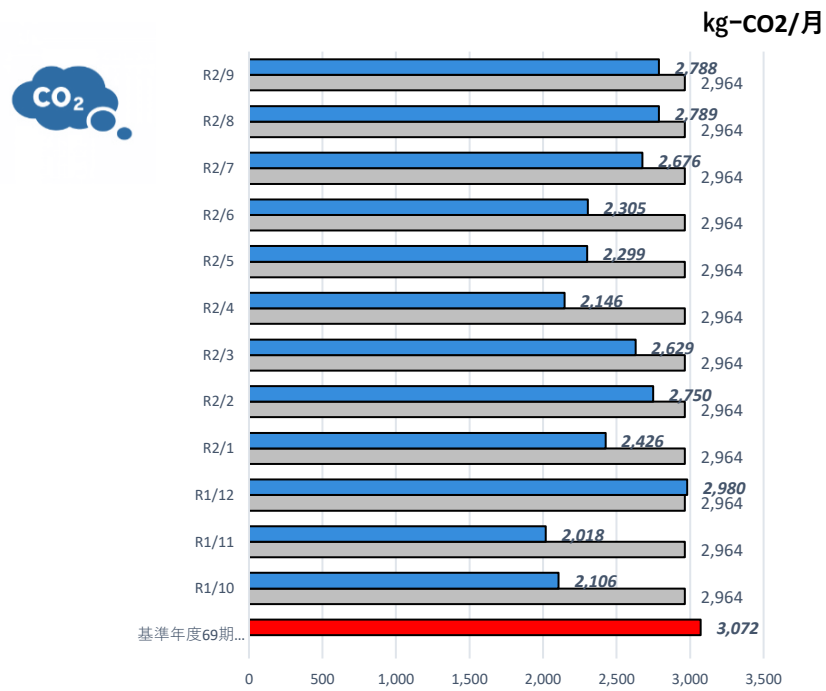


7. 環境経営目標及び実績と評価 (本社)



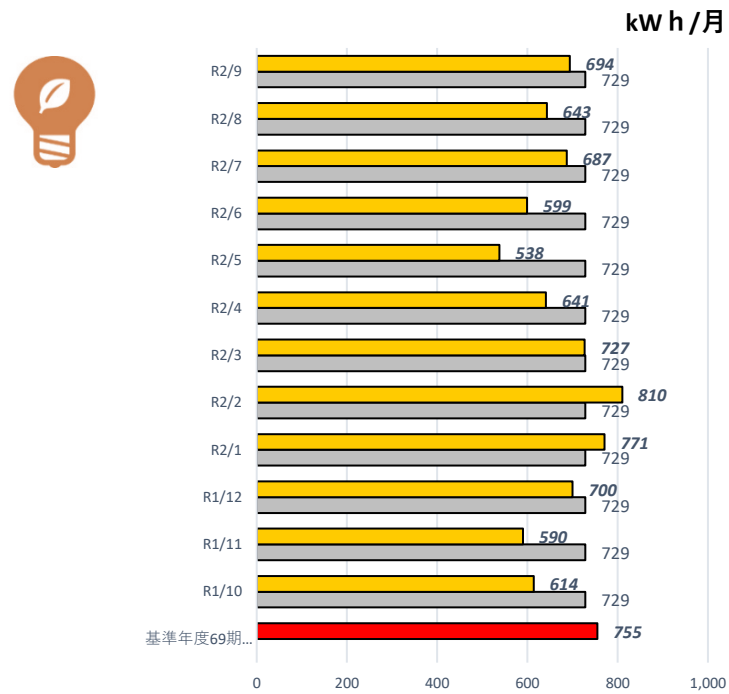
二酸化炭素排出量の削減 (本社/月)

29,913	判定	実績
35,568	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
36,864		基準年度H27/10~H28/9



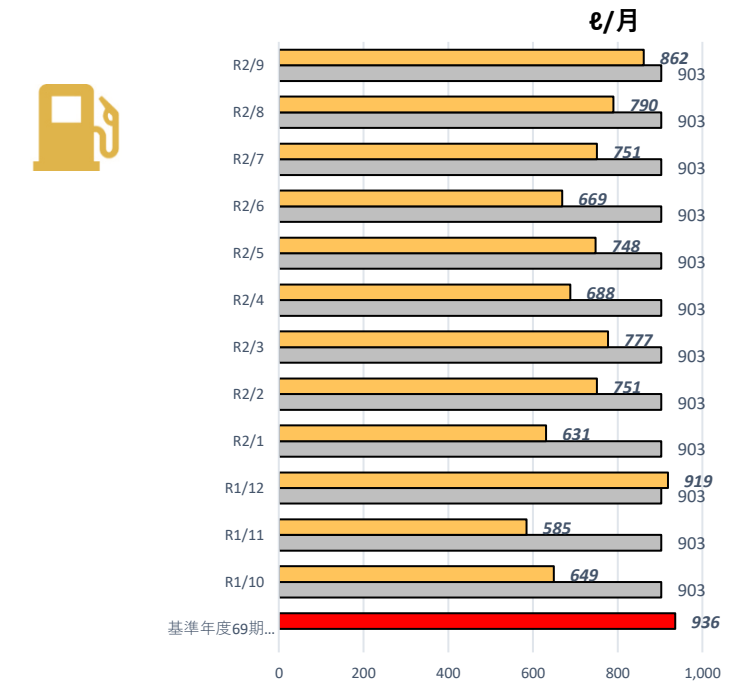
電力使用量の削減 (本社/月)

8,014	判定	実績
8,748	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
9,060		基準年度H27/10~H28/9



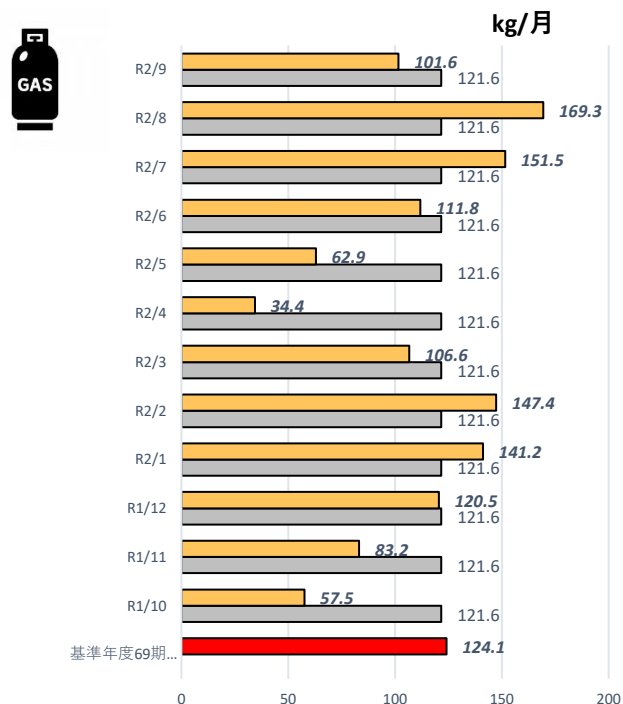
ガソリン使用量の削減 (本社/月)

8,820	判定	実績
10,836	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
11,232		基準年度H27/10~H28/9



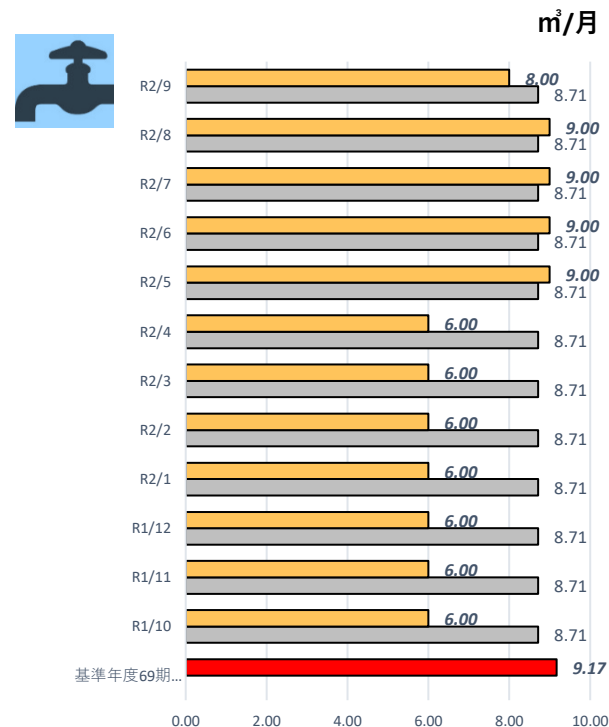
液化石油ガス (LPG)使用量の削減 (本社/月)

1,288	判定	実績
1,459	△	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
1,489		基準年度H27/10~H28/9



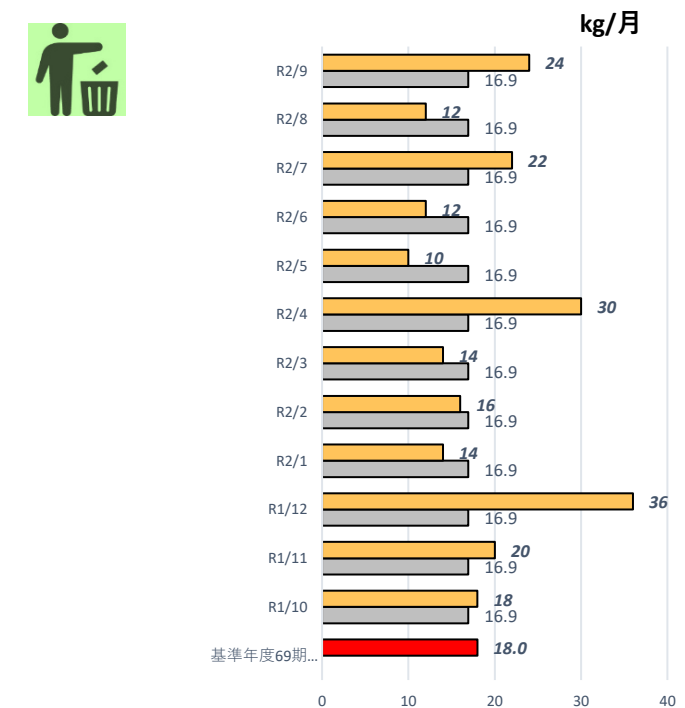
水使用量の削減 (本社/月)

86	判定	実績
105	△	目標 R1/10~R2/9 ▼5%
110		基準年度H27/10~H28/9



一般廃棄物の削減 (本社/月)

228	判定	実績
203	×	目標 R1/10~R2/9 ▼6%
216		基準年度H27/10~H28/9

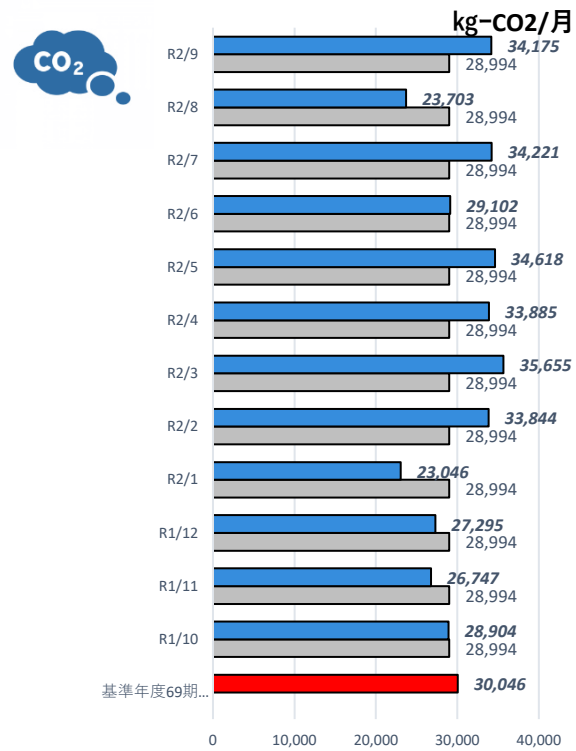


8. 環境経営目標及び実績と評価 (川上砕石場)



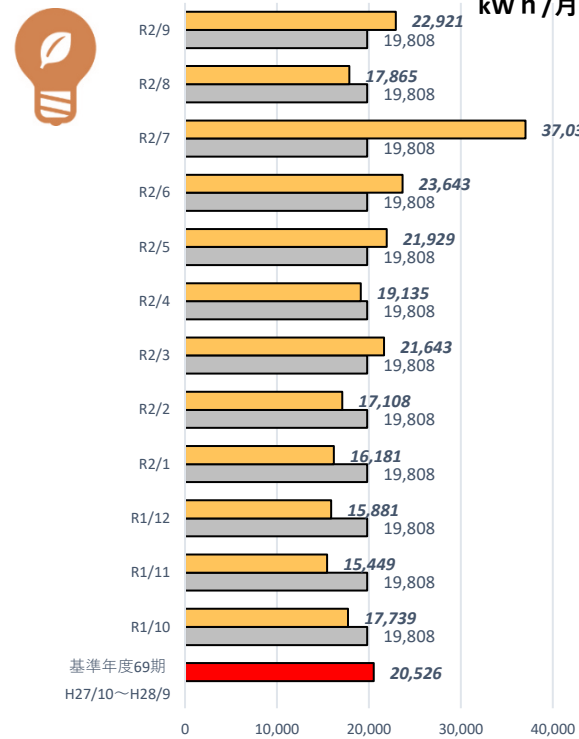
二酸化炭素排出量の削減 (川上工場/月)

365,195	判定	実績
347,928	×	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
360,552		基準年度H27/10~H28/9



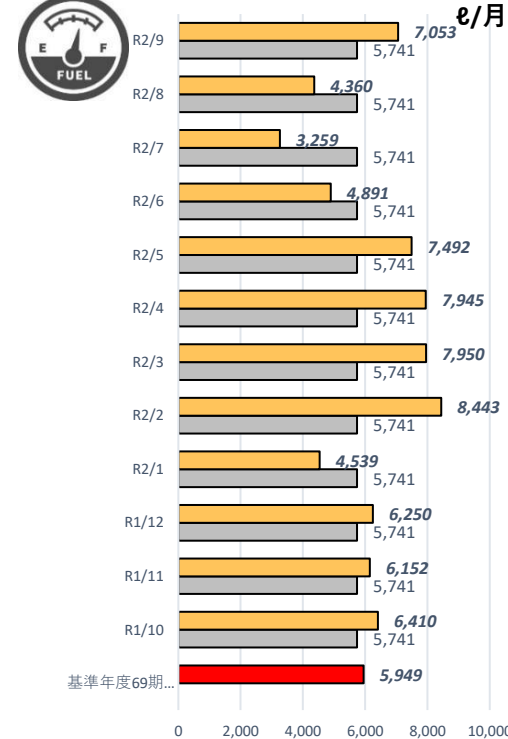
電力使用量の削減 (川上砕石場/月)

246,525	判定	実績
237,696	△	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
246,312		基準年度H27/10~H28/9



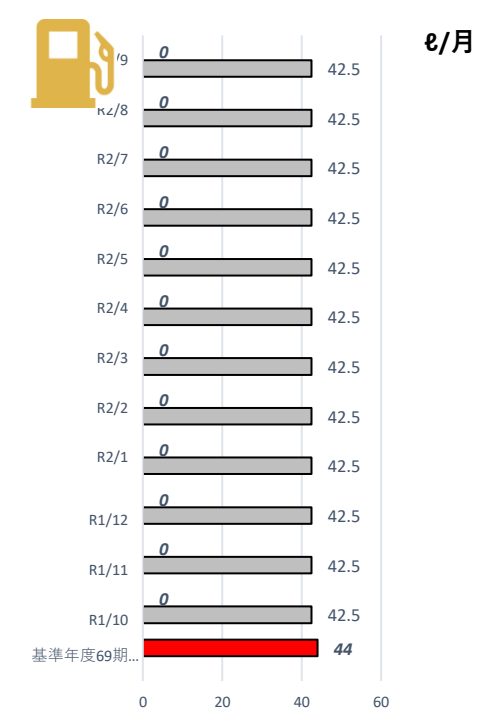
軽油使用量の削減 (川上砕石場/月)

74,744	判定	実績
68,892	×	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
71,388		基準年度H27/10~H28/9



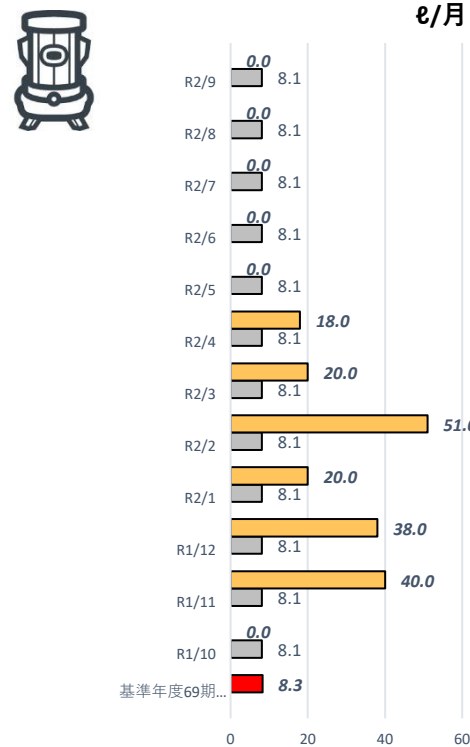
ガソリン使用量の削減 (川上砕石場/月)

0	判定	実績
510	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
528		基準年度H27/10~H28/9



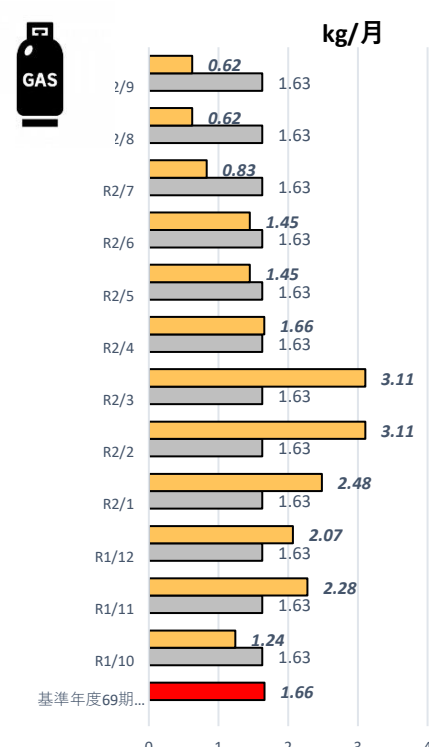
灯油使用量の削減 (川上砕石場/月)

187	判定	実績
97	×	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
100		基準年度H27/10~H28/9



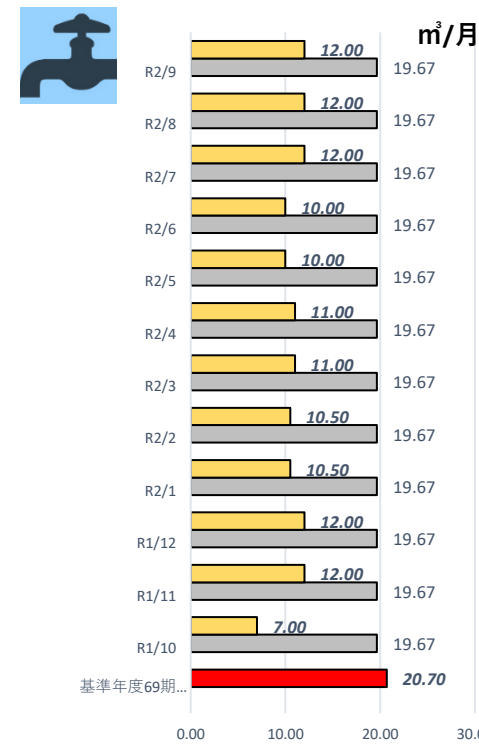
液化石油ガス (LPG)使用量の削減 (川上砕石場/月)

27	判定	実績
20	△	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
20		基準年度H27/10~H28/9



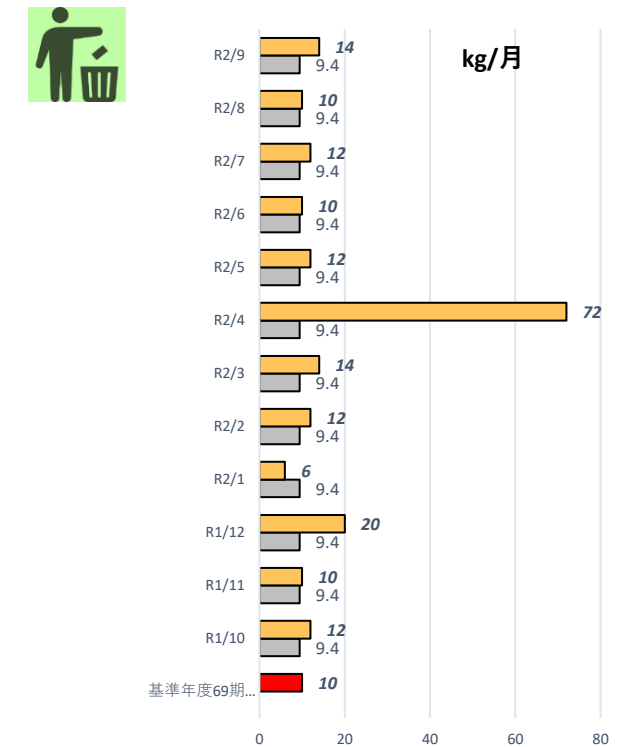
水使用量の削減 (川上砕石場/月)

130	判定	実績
236	○	目標 R1/10~R2/9 ▼5%
248		基準年度H27/10~H28/9



一般廃棄物の削減 (川上砕石場/月)

204	判定	実績
113	×	目標 R1/10~R2/9 ▼6%
120		基準年度H27/10~H28/9



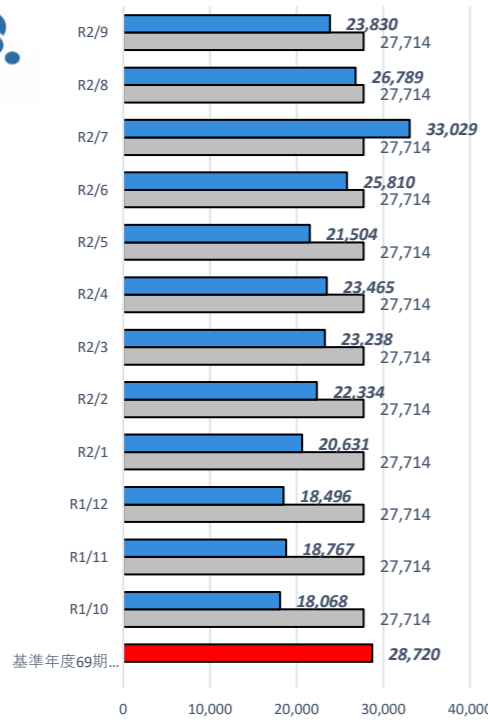
9. 環境経営目標及び実績と評価（嘉川砕石場）



二酸化炭素排出量の削減（嘉川砕石場/月）

275,967	判定	実績
332,568	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
344,640		基準年度H27/10~H28/9

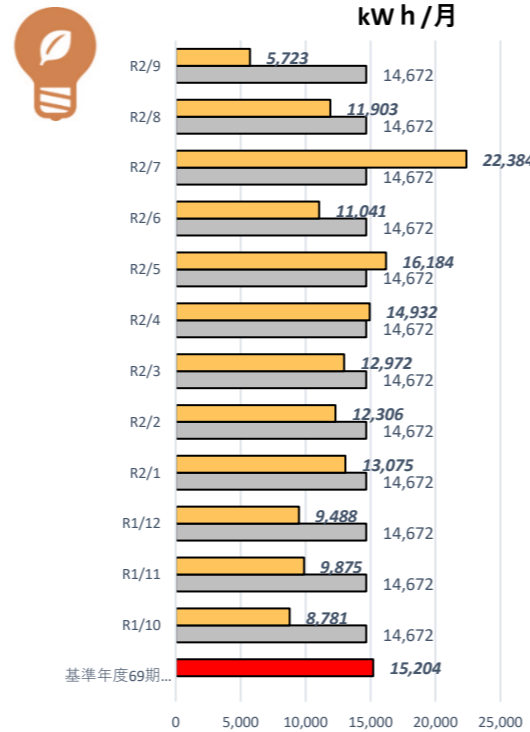
kg-CO2/月



電力使用量の削減（嘉川砕石場/月）

148,664	判定	実績
176,064	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
182,448		基準年度H27/10~H28/9

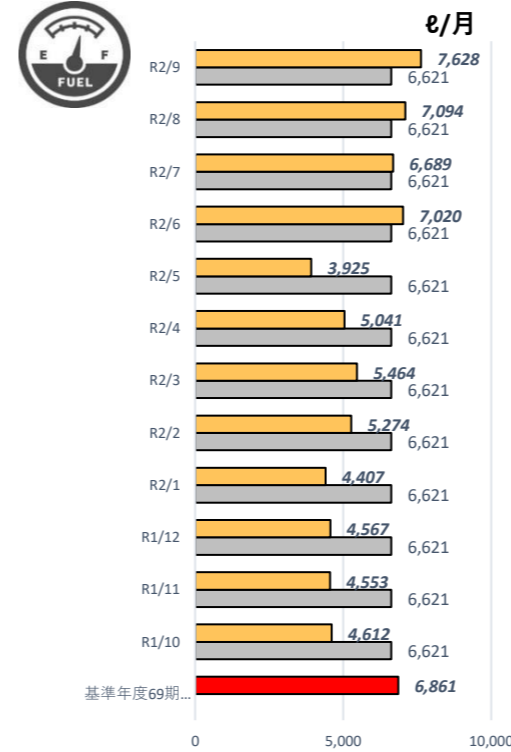
kWh/月



軽油使用量の削減（嘉川砕石場/月）

66,274	判定	実績
79,452	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
82,332		基準年度H27/10~H28/9

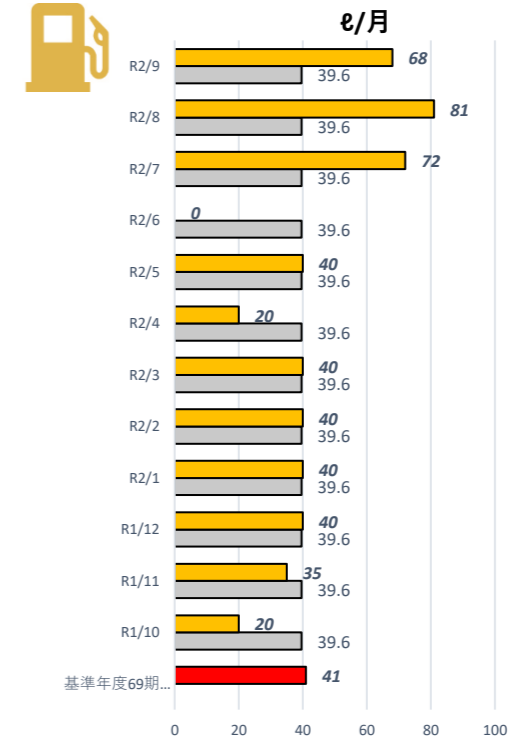
ℓ/月



ガソリン使用量の削減（嘉川砕石場/月）

496	判定	実績
475	△	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
492		基準年度H27/10~H28/9

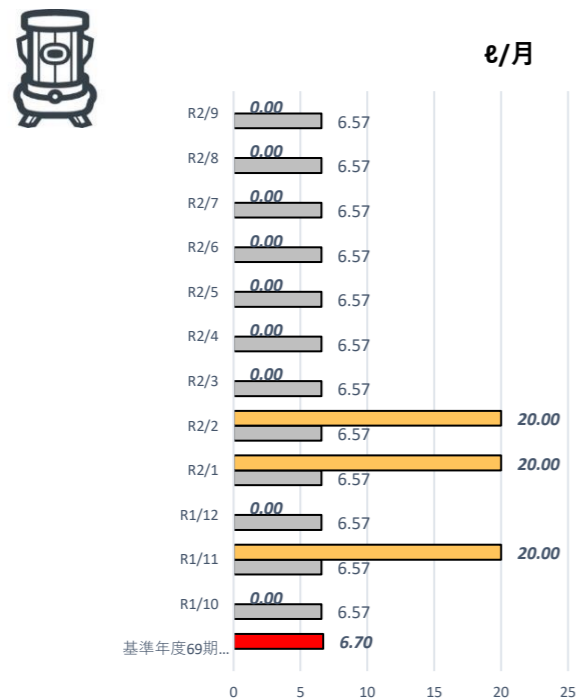
ℓ/月



灯油使用量の削減（嘉川砕石場/月）

60	判定	実績
79	△	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
80		基準年度H27/10~H28/9

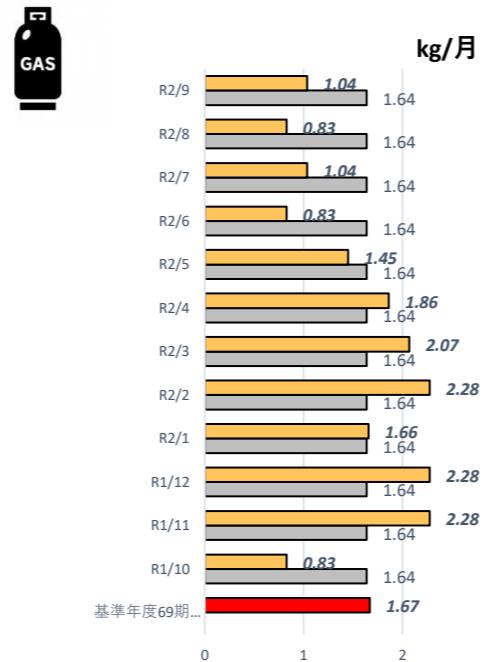
ℓ/月



液化石油ガス（LPG）使用量の削減（嘉川砕石場/月）

18	判定	実績
20	△	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
20		基準年度H27/10~H28/9

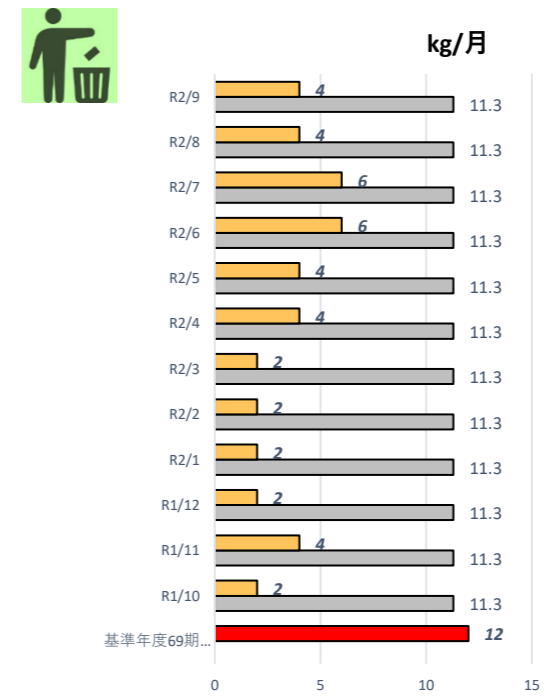
kg/月



一般廃棄物の削減（嘉川砕石場/月）

42	判定	実績
136	○	目標 R1/10~R2/9 ▼6%
144		基準年度H27/10~H28/9

kg/月

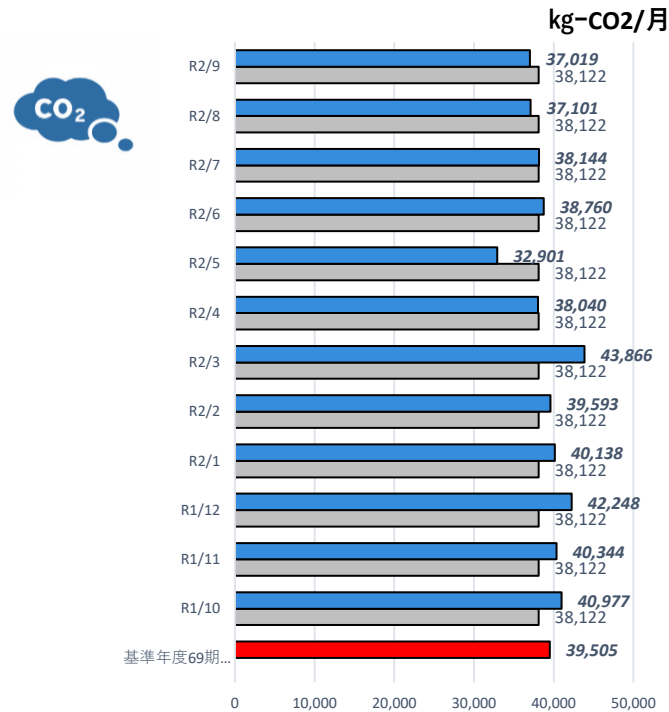


10. 環境経営目標及び実績と評価 (リサイクル工場)



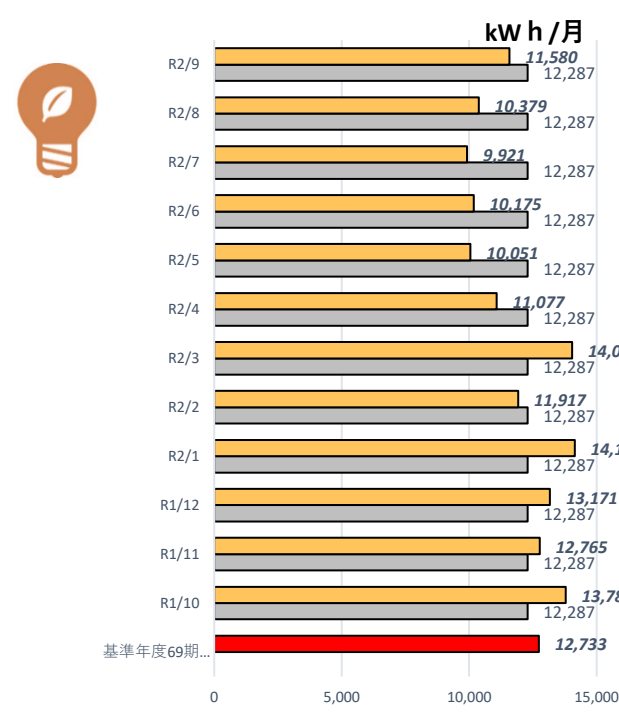
二酸化炭素排出量の削減 (リサイクル工場/月)

469,131	判定	実績
457,464	×	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
474,060		基準年度H27/10~H28/9



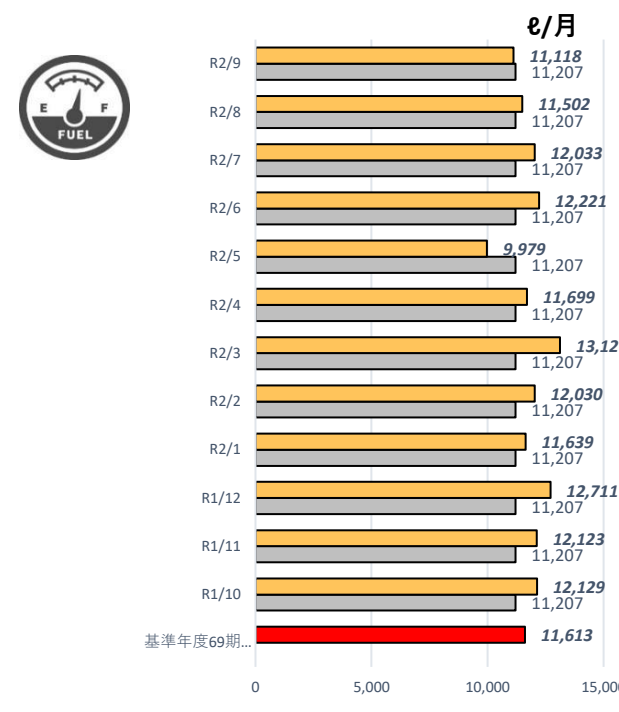
電力使用量の削減 (リサイクル工場/月)

142,992	判定	実績
147,444	△	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
152,796		基準年度H27/10~H28/9



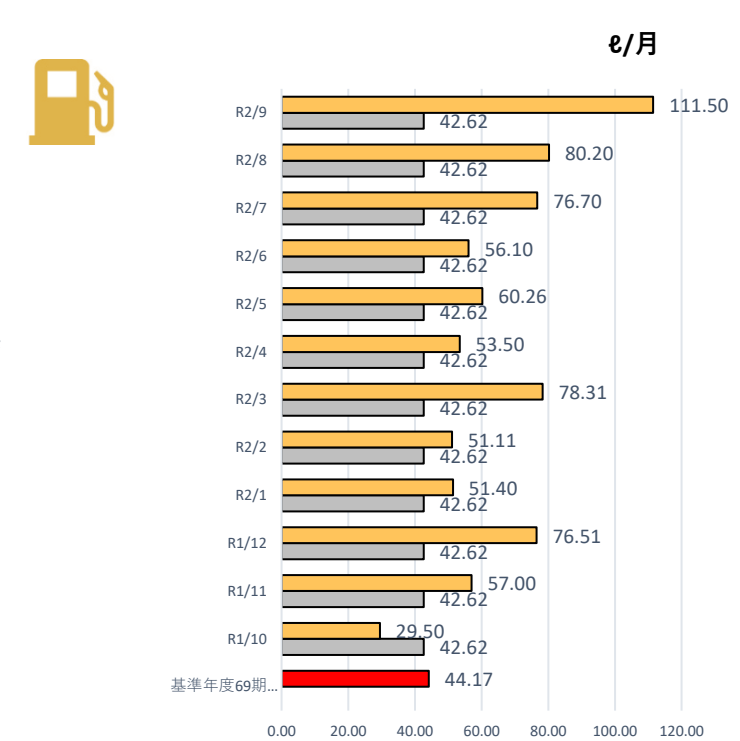
軽油使用量の削減 (リサイクル工場/月)

142,310	判定	実績
134,484	×	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
139,356		基準年度H27/10~H28/9



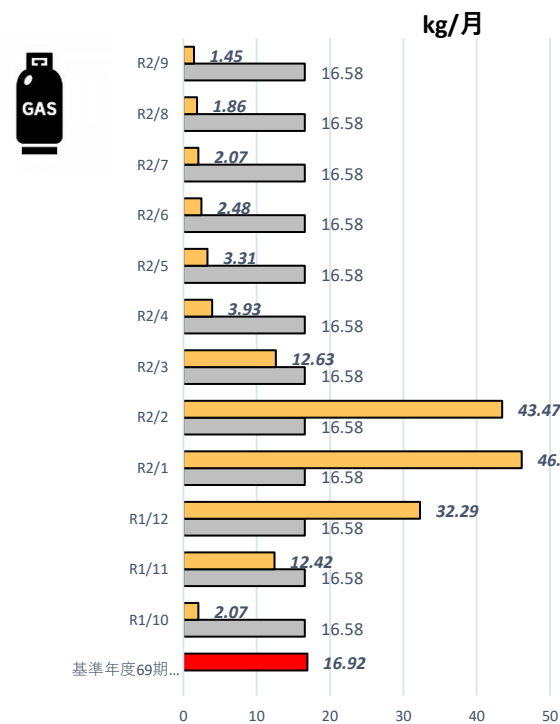
ガソリン使用量の削減 (リサイクル工場/月)

782	判定	実績
511	×	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
530		基準年度H27/10~H28/9



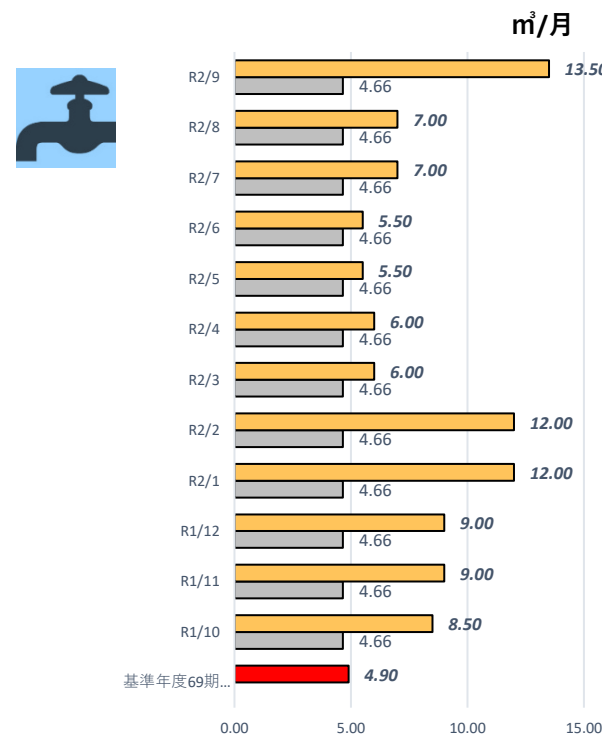
液化石油ガス (LPG)使用量の削減 (リサイクル工場/月)

164	判定	実績
199	△	目標 R1/10~R2/9 ▼2%
203		基準年度H27/10~H28/9



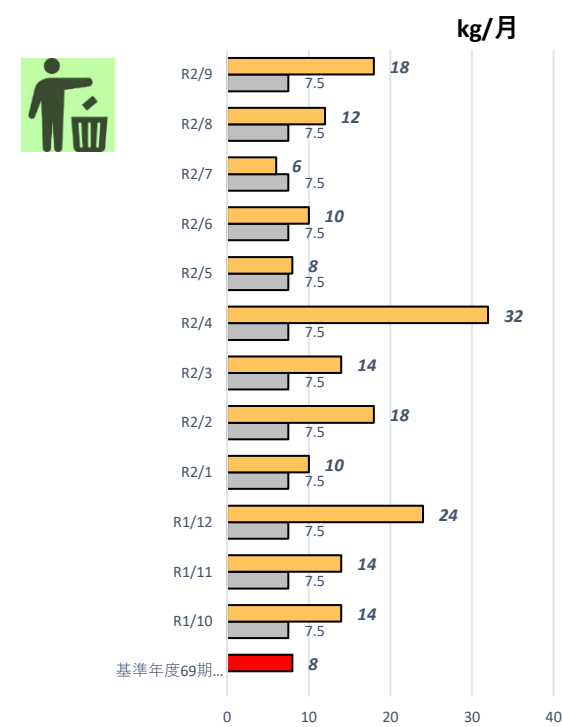
水使用量の削減 (リサイクル工場/月)

101	判定	実績
56	×	目標 R1/10~R2/9 ▼5%
59		基準年度H27/10~H28/9



一般廃棄物の削減 (リサイクル工場/月)

180	判定	実績
90	×	目標 R1/10~R2/9 ▼6%
96		基準年度H27/10~H28/9

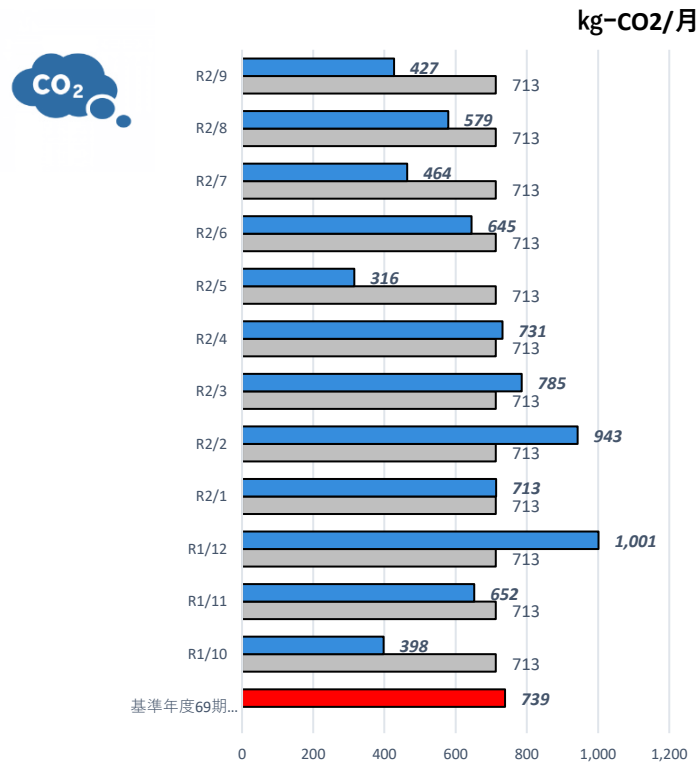


11. 環境経営目標及び実績と評価 (リペアセンター)



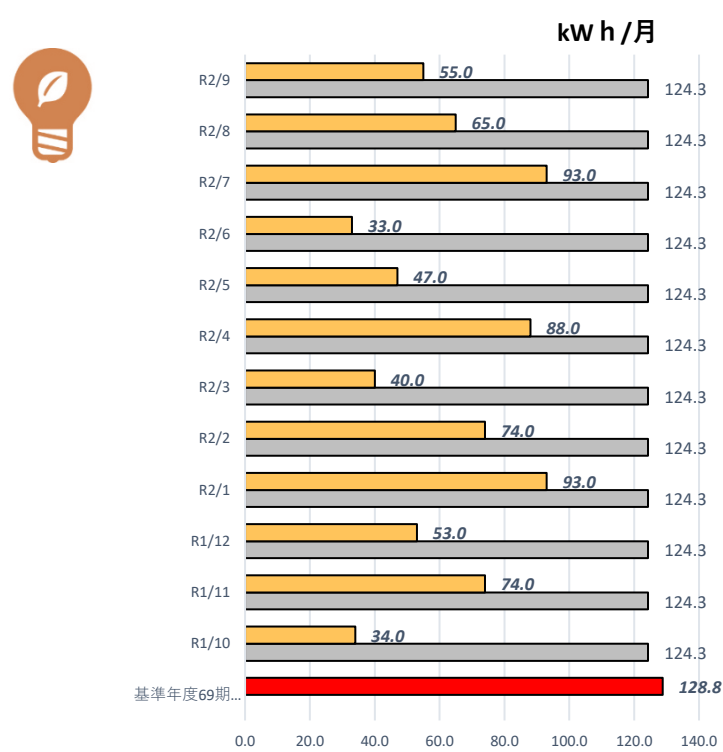
二酸化炭素排出量の削減 (リペアセンター/月)

7,654	判定	実績
8,556	△	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
8,868		基準年度H27/10~H28/9



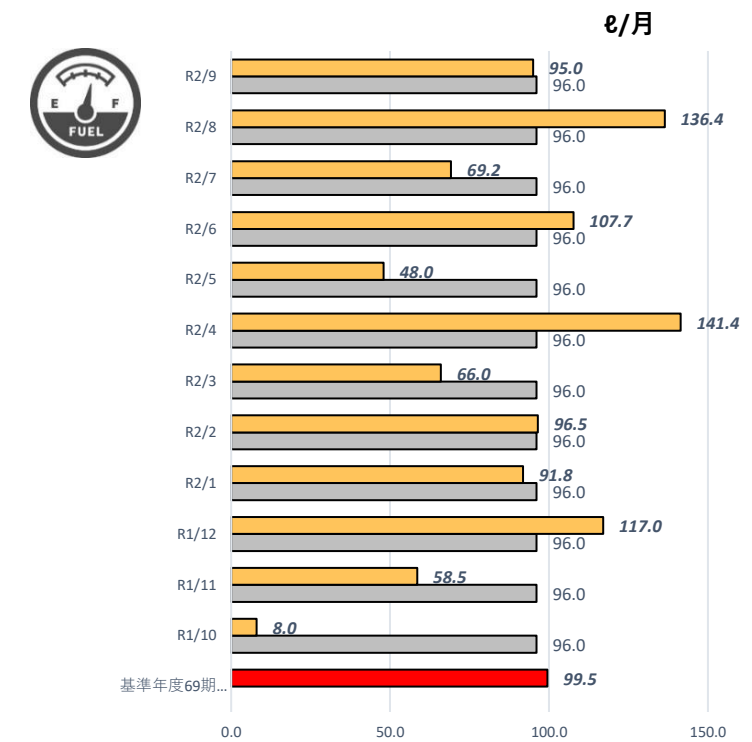
電力使用量の削減 (リペアセンター/月)

749	判定	実績
1,492	○	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
1,546		基準年度H27/10~H28/9



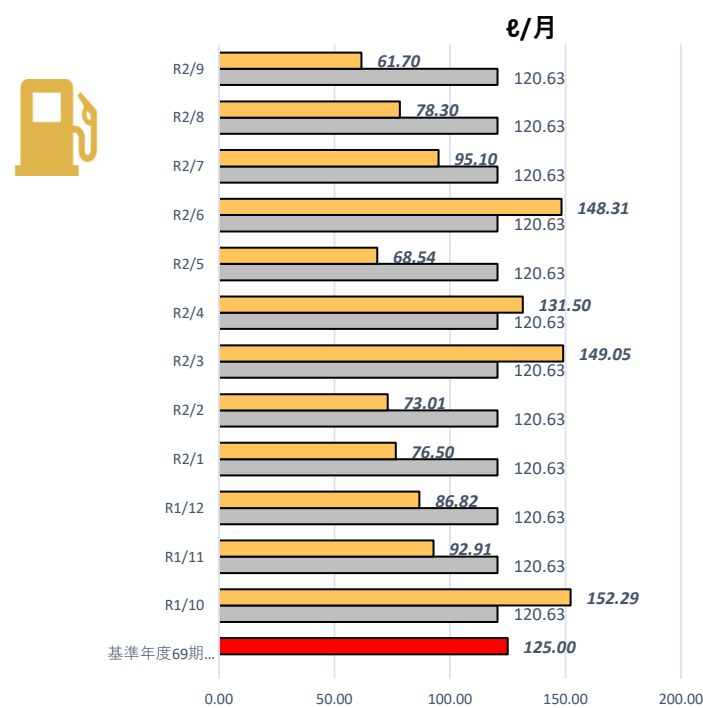
軽油使用量の削減 (リペアセンター/月)

1,036	判定	実績
1,152	△	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
1,194		基準年度H27/10~H28/9



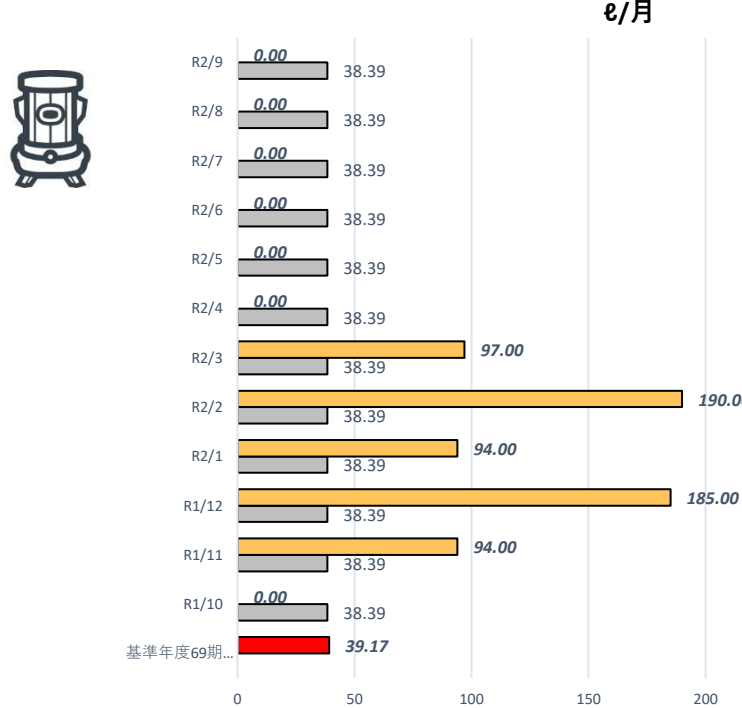
ガソリン使用量の削減 (リペアセンター/月)

1,214	判定	実績
1,448	△	目標 R1/10~R2/9 ▼3.5%
1,500		基準年度H27/10~H28/9



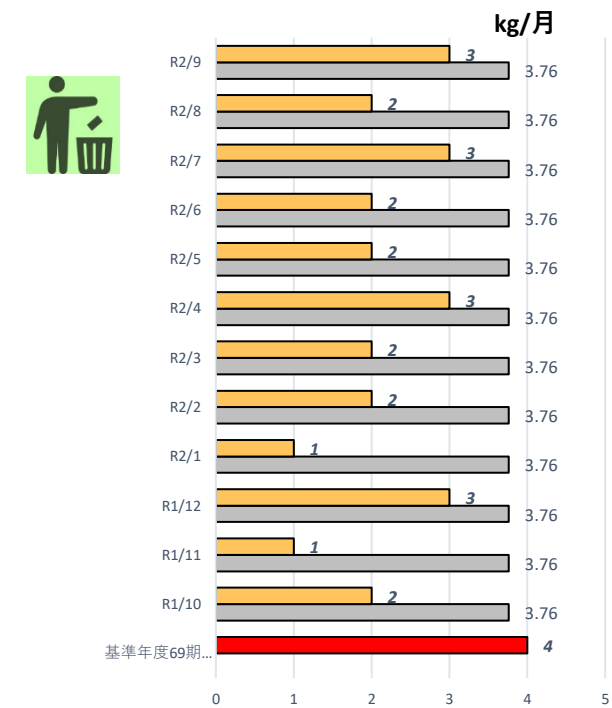
灯油使用量の削減 (リペアセンター/月)

660	判定	実績
461	×	目標 R1/10~R1/9 ▼2%
470		基準年度H27/10~H28/9



一般廃棄物の削減 (リペアセンター/月)

26	判定	実績
45	○	目標 R1/10~R2/9 ▼6%
48		基準年度H27/10~H28/9





次年度の環境経営目標は、前述「中期環境経営計画」の74期の通りとする



電力使用量の削減

7月の豪雨で工場内の水を抜くに電気消費量が超過したこと以外は、全体的に目標値をクリア出来ている。エアコンや蛍光灯等を省エネタイプに切り替えた。

太陽光パネル導入予定（本社） 電力量の見える化の推進（各工場）



軽油使用量の削減

目標値をクリアしなかった。ただ、69期が自社の収集運搬車両3台に対して、73期が2台増台の5台になったので次年度から基準値の見直しをするように指示を出した。



ガソリン使用量の削減

目標値を超過する月が1つも無かったので次年度も引き続き継続していく。



灯油使用量の削減

冬場の暖房目的に、灯油使用量が基準年を上回り、目標値を達成出来なかった。

目標値の見直しを検討します。



液化石油ガス(LPG)使用量の削減

夏場、冬場でのLPGガス消費量が増加しました。本社ではエアコン動力になっていることも要因。

目標値の見直しを検討します。



水使用量の削減

9月以外は目標値を達成しています。引き続き節水活動を継続します。



一般廃棄物の削減

全体的に前と比べて改善ができています。引き続き活動を継続します。



家庭内エコ目標の達成

エコ目標を1件/戸・年以上設定し、実践した。

各人エコに対しての意識が高揚しています。引き続き活動を継続します。SDG s の推進準備



地域清掃活動への取り組み

例年通り工場回りの道路、水路清掃を実施しています。自治会主催の清掃活動にも参加し地域美化の貢献しています。引き続き活動を継続します。

優良認定の維持

さんぱいくんに公表している情報を速やかに更新し、優良認定基準を遵守しました。

今後も情報管理を徹底します。

リサイクル製品の品質維持

リサイクル製品を品目ごとに分析を行い、県の認定基準適合を確認しました。

今後も毎年分析を実施し、品質管理を徹底します。





緊急事態の想定訓練 (6月24日)

・環境上の緊急事態（オイル流出を想定）の訓練実施。作成して社内報を現場説明用とした。



BIG TOWER TIMES 第2号 (6月) 2017年6月22日発行

重機・破砕機からの油流出時の緊急対応について
 エコプラザ21では環境への影響を低減し緊急事態時にも対応できるように、各工場で流出経路は異なるため、対応方法の事前検討が必要です。

破砕機から油流出
 給油ホースの損傷、ホース脱落等により発生

①ポンプ電源オフ
 ・操作盤のポンプスイッチをオフ
 ・7070は給油圧が低下して停止

②土嚢にて流出防止
 ・砂を詰めた土嚢を機体側に保管のこと

③吸着マットにて回収
 ・オイルが水面に流入した場合
 吸着マットでオイル回収

④緊急連絡網により通達
 (別添1.緊急事態連絡体制(F3))

⑤住民への説明対応
 地域自治体の住民へ十分な説明が必要です。

⑥監視
 河川等への流出防止が無くならないよう監視が必要です。

緊急対応備品の保管管理 土嚢・吸着マット等の保管管理



家庭内エコ目標

従業員全員のエコ活動への意識高揚を目的に、家庭においても各人のエコ目標を宣言し年間を通じて自己評価することとした。(表1)

宇部インターと隣接する市道を毎月1回スーパーにより清掃。

(写真1)

リペアセンター回り公道清掃

(写真2)

公道周辺の空き缶等回収

空き缶等の回収清掃実施 (写真3)



写真3



Table with columns for 'エコ目標 (第70期)' and '自己評価'. Rows list various departments like '本社', 'リペア', '川上工場', 'リサイクル工場', and '養川工場' with their respective eco-goals.

表1



写真1



写真2





15.

環境関連法規の遵守状況

環境関連法規等の遵守状況は下表の通りで、違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、及び近隣苦情並びに訴訟等はありません。

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の処理、産業廃棄物処理業、産業廃棄物処理施設、産業廃棄物管理票、雑則等	◎
大気汚染防止法	一般粉塵発生施設に関する規制	◎
騒音規制法及び振動規制法	特定施設に関する騒音及び振動に関する規制	◎
採石法	採石業者の登録、採石施設標識の掲示等	◎
宇部・山陽小野田及び 山口市'消防組合火災予防条例	変電設備の構造、管理基準 溶接、ガス切断作業中の防火管理	◎
消防法	設備基準（消火器、火災報知設備） 及び総合点検等	◎
労働安全衛生法、事務所衛生基準規則	事務所の作業環境に関する規則	◎

16. 全体の評価と見直し



評価及び見直しの実施年月日		令和2年 10月 31日
評価者名（代表者名）		塔野 功一郎
評価及び見直しの参加者		環境管理責任者 堀田
提出した情報（資料等）		①環境経営活動レポート ②環境経営方針 ③環境経営活動計画の実施状況 ④環境関連法規等の遵守状況のチェック結果 ⑤外部からの苦情等の受付結果 ⑥緊急事態の想定結果・訓練結果 ⑦その他（ポスター掲示に関する手順書他）
評価	環境経営システムが有効に機能しているか	・社内5部門のエネルギー消費量は、EA21に取り組むことで月別消費推移が統計的（グラフ化）に明確化した。引き続きこのデータを活用し経営効率化に寄与させていきたい。
	環境への取組は適切に実施されているか	・EA21の認証取得により、従業員全員の環境改善取組への意識向上が図れた。今後はEA21の取組を礎に、優良産廃業者の認定取得を達成し、当社の顧客信頼性の向上に寄与出来た。
見直し（変更の必要性・指示）	環境方針変更の必要性	・現時点で変更の必要性は無い。
	環境目標変更の必要性	・現時点で変更の必要性は無い。
	環境活動計画変更の必要性	・現時点で変更の必要性は無い。
	環境経営システム等変更の必要性	・現時点で変更の必要性は無い。 今後のデータとりまとめと報告をお願いします。
	次年度に向けての指示	・次年度に向けての見直しをしたが、新たな取組はしながいが再度徹底させた。

エコアクション21認証取得から、弊社では従業員と共に環境と向き合い始めて少しずつ意識、行動に変化が出ていると考えています。

ただ代表者として、現状に満足するのではなく今後ともエコアクション21の環境活動継続はもちろんのことですが、今一度各従業員に意識づけを行い、全社一丸となり地球温暖化対策のためco2排出量低減に向けて取り組み少しでも前に進めたらと考えております。